

### 子どもを支援 無料で寺子屋



おいしい・さやか 東京大大学院  
在学中。光や溶液などで野菜を育て  
る「植物工場」の培地改良に取り組  
む。静岡大農学部卒。藤枝市出身。  
22歳。

県内や山梨県を中心に各地  
のカフェで無料の寺子屋を開  
き、子どもの「自由な学び」  
を支援する学生団体「Café  
de (カフェ・デ) 寺子  
屋」を4月に設立。活動に懸  
ける思いや今後のビジョンを  
聞いた。

「団体設立のきっかけ  
は、

「大学生になってからの  
経験が大きい。授業に來な

### 本音インタビュー

学習支援団体「Cafe de  
寺子屋」代表

大石 紗矢香氏

## 自由に学べる社会作る

「開講に向けた準備はど  
のくらい進んでいるか。」  
「静岡、山梨を中心に、  
教育に対する課題を感じて  
いる学生が多く集まった。  
県内では静岡大や県立大、  
東海大清水キャンパス、日  
大三島キャンパスの学生が  
所属し、東京や京都、名古  
屋にもメンバーがいる。同  
じ思いを持って動いてくれ

る人がいたことがうれ  
しい。それぞれの地域で拠点  
作りを進め、協力してくれ  
るカフェも増えている。新  
型コロナウイルスの影響で  
活動は始められていなかっ  
たが、7月中の開講を目指  
している」  
「地域のつながりを作る  
場としての期待も。」  
「教えるのは年の近い大  
学生。子どもたちは先輩後  
輩のような親近感を持って  
くれると思う。また、学生  
と子どもがつながるだけで  
なく、学生と子どもの親、  
カフェの店員などがお互い  
をわかり合うことも重要だ  
と考えている。最近隣近  
所に誰が住んでいるか知ら  
ない人も多い。寺子屋が地  
域のつながりとしての役目  
も果たし、安心して暮らせ  
る街が増えていくことを願  
う」  
「今後のビジョンは、  
「団体を8月にNPO法  
人にする予定。今いるメン  
バーの所在地で基盤を作  
り、2022年3月までに  
47都道府県全てに寺子屋を  
開設したい。寺子屋で育つ  
た子どもたちが将来家庭を  
持ち、好きなことを自由に  
学べる環境を家庭内で作  
る。それが社会全体へと広  
がることで最終的に私たち  
が必要なくなるのが理想」  
(聞き手〓社会部・大石真聖

かったり、教授の話聞いて  
いなかっただけで学生を  
見ているのか」と疑問を持  
っていた。また、アルバイト  
トをしていた学習塾でも、  
成績や周囲の意見にとらわ  
れて勉強をやらされている  
子どもが多かった。本来、  
学びとは自由なことである  
はず。学校や塾などの既存  
の教育環境ではそれが実現  
できていないと思い、子ど  
もが自発的に自由に学べる  
場を作りたいと団体を設立  
した」

「開講に向けた準備はど  
のくらい進んでいるか。」  
「静岡、山梨を中心に、  
教育に対する課題を感じて  
いる学生が多く集まった。  
県内では静岡大や県立大、  
東海大清水キャンパス、日  
大三島キャンパスの学生が  
所属し、東京や京都、名古  
屋にもメンバーがいる。同  
じ思いを持って動いてくれ